



森を歩いてごらん。
 樹々をわたる風によって
 くすくすと笑う声…
 草むらをゆらしてかけだす音…
 花から花にかくれる影…

雨あがりの朝、木のかげにかくれて
 そっと野原を見てごらん。
 妖精が、お日さまと笑いあいながら
 すきとおった羽をかわかしている。

湖のほとりに立って目とじてごらん。
 波の音によって、
 森中の妖精がさざめきあう声…

ここは、妖精の里。



森に囲まれた湖・沼沢湖のほとりに、世界中の妖精が集まっています。「妖精美術館」には、妖精を描いた絵画、絵本、文学の資料、人形、妖精をとり入れた小道具などがたくさんそろっています。



【フェアリーランド】

(1910-1914)水彩画

▶妖精の資料をそろえた小部屋



【テンペスト】

(1864)油彩
 The Tempest
 画：William Bell Scott
 ウィリアム・ベル・スコット
 (1811～1890)



▲妖精の絵のギャラリー



【夏の夜の夢】

ステンドグラス
 作：天野 喜孝